

経営比較分析表（令和元年度決算）

北海道 豊富町

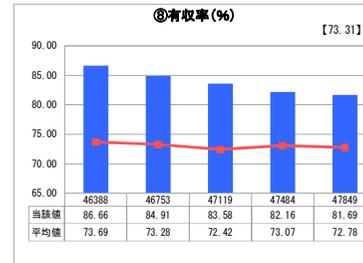
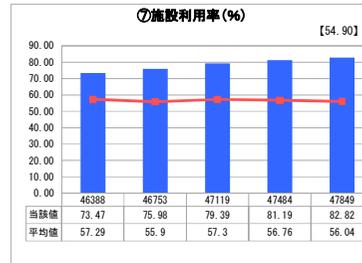
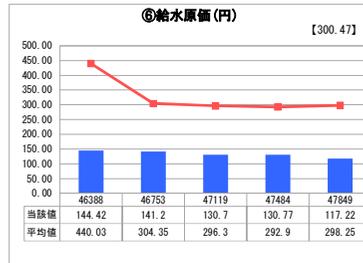
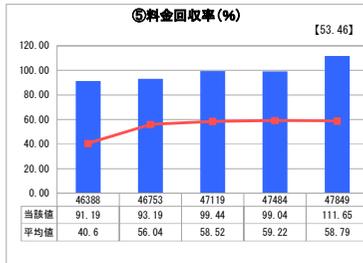
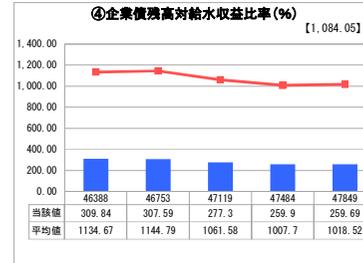
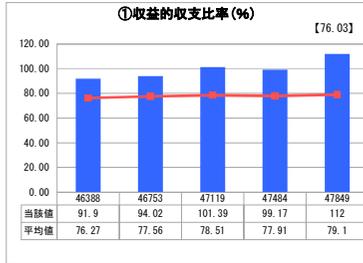
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)	
-	該当数値なし	100.00	3,410	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
3,891	520.69	7.47
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
3,858	231.19	16.69

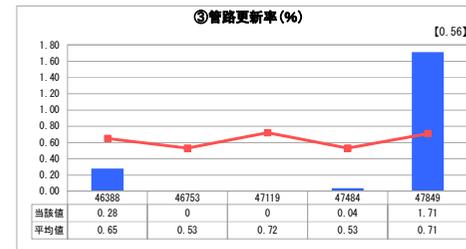
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率については100%を超え類似団体と比較して高い数値であるが、今後の施設大量更新向けの財源確保のため、早急にご利用料改定を行い、更なる経営改善に取り組まなければならない。

②企業債残高については、今後の施設更新に伴い比率が高くなるのが想定できるため、計画に沿った更新を行うと共に資本費用を見据えた料金改定が必要である。

③料金回収率については類似団体と比較して非常に高い数値ではあるが、収支比率と同様に健全経営に取り組まなければならない。

④施設利用率については右肩上がりではあるが、今後の大量更新に向け適切な施設規模を把握しなければならない。

⑤有収率については年々下降している。令和元年度も老朽管からの漏水が多発しているため、効率的な管路更新を実施しなければならない。

2. 老朽化の状況について

③管路更新については補助事業を活用しながら平成31年度より進めているが、全体を更新するには時間と費用が莫大に係るため、効率的・効果的に進めていく必要がある。

全体総括

本町の簡易水道事業については、類似団体と比較し経営面での数値は安定しているが、今後の施設更新や人口減少、公営企業会計適用にあたり、数値は大幅に変更すると予想される。更新事業の実施や法適用を迎えるにあたり、改めて施設更新の計画策定と料金改定により資本分の財源確保を行わなければならない。